

連

四年

画数 10
筆順 亘車連
オン レン
クン つらなる川ねる・つ川れる

成り立ち



「輦(天子の乗る車のこと)の意味の『車』と、道を進む意味を表した『辵』とを組み合わせて作った字です。「輦車が道を進む」という意味の字ですが、この時には前にも後ろにもおとも車がたくさん『つらなる』ので『つらなる』という意味を表したものです。

「つらなりつづく」ことです。【例】連続、連山。

「つらねる」意味にも使います。【例】連名。

「引き続き」の意味にも使います。【例】連日、連戦連勝。

また、『つれる』『つれ(なにかま)』の意味にも使われま
す。【例】連行、常連。

使い方

▽休日(の自動車道は、どこも車が連なり、快適なドライブは楽しめなくなりました。

▽公園には、犬を連れた人がいく人も見えます。

熟語例

▽連続(連なり続くこと。物事が途中で切れることなく続くこと。【例】五年連続して優勝した。)

▽連山(連なった山。【例】伊豆連山のかなたに夕日が今しずもうとしています。)

▽連名(名前を書き連ねること。【例】学級全員の連名で旅行中止を願い出ました。)

▽連日(引き続き何日も何日も。【例】晴天のため、海は連日海水浴の人出でにぎわいました。)

▽連勝(引き続き勝つこと。【例】連戦連勝でついに決勝戦へと進出しました。)

▽連行(連れて行くこと。【例】悪い事をした人が警官に連行されるすがたを見ました。)

▽常連(いつもの連れ。いつも来るなにかま。【例】あの人は毎日曜スケートに来る常連の一人です。)

使い方

▽「年老いてもまだ若い者には負けんぞ」というのが祖父の口ぐせです。

▽老人にはちがいがありませんが、年齢以上に老けて見えます。

熟語例

▽老人(年老いた人。年より。むかしは「人生五十年」と言われ、四十歳を「初老」と言いました。「老人の初め」という意味ですから、今では働き盛りの四十歳も老人として扱われたわけです。)

▽老体(年老いた体。「老人」のことを「御老体」と言うことがあります。)

▽長老(老人の敬称。特に、その道で経験を積んだ人の敬称。【例】○博士は学界の長老として尊敬されている方です。)

▽老衰(老いて衰えること。年を取って、体力・気力が弱ること。)

▽老巧(老いて経験を重ね、物事に巧者になること。経験を積んで物事に熟達すること。「老練」とも言います。)

老

四年

画数 6
筆順 + 少考老
オン ロウ
クン おいいる・ふ川ける

成り立ち



「毛」と「人」と、「化(変わる)」の意味の『匕』とを組み合わせて作った字です。

「人のかみの毛が白く変わった『年より』」という意味の字です。【例】老人、敬老、長老。

「年を取る(おいる)」という意味にも使われます。【例】老衰、老朽。

また、「経験を多く積んで『熟達する』」という意味にも使われます。【例】老巧、老練。